援助を受けた日本から援助する日本へ

日本は戦後どんな援助を受け、今はどんな協力をしているのか。立場が変わったのはなぜか。

上の段：日本が受けた援助

給食の粉ミルクなど
1947年ごろから
アメリカやユニセフなどから贈られ、学校給食に使われる

世界銀行からお金を借りて建設
1953〜1966年（31件）



東海道新幹線



名神・東名高速道路



黒部第四発電所

1990年
世界銀行から借りたお金を返し終わる

立場が変わったのはなぜかな

返し続ける

戦後すぐ　受けながら行う　経済が成長したころ、受ける側から行う側へ　今

1950年　1960年　1970年　1980年　1990年　2000年　2010年　2020年

下の段：日本が行う協力

1954年
コロンボ・プランに加わる（アジアなどの国を助ける国際的なしくみ）
技術の協力を始める

1955年〜1958年
1955年 専門家を送る、研修の人を受け入れる
1958年 資金の協力（お金を貸す）も始める

今の協力のかたち

技術の協力
知識や経験を伝える

資金の協力
学校や施設づくりを助ける

人の派遣
現地の人とともに活動

教育・医療・農業など、さまざまな分野で

受けた経験を今の協力に生かす

地震などの災害や、復興の経験から学んだ防災の知識を、研修などで世界に伝える

日本は援助を受けて国づくりを進め、経済が成長するなかで、世界の国々に協力する側にも立つようになった。

※ 年は世界銀行・文部科学省・外務省の資料による（2026-11-05 確認）。援助と協力は主なものの例。